

水産B

〔例題1〕 人工魚礁の造成に関する次の記述の空欄A～Eに該当する語句を次の語群から選び、その記号を記入しなさい。

1. 人工魚礁は対象とする魚類の漁獲の増大、幼稚魚の保護育成、操業の を図るために設置され、一般に海底に設置される着底型のものを人工魚礁と呼び、海面上に係留される洋上型や海中に係留される中層型のものを と呼んで区別している。
2. 人工魚礁の組材は、主にコンクリート魚礁や鋼製魚礁が用いられているが、新たな組材として 硬化体を利用した魚礁ブロックも開発されている。
3. 着底型人工魚礁は、漁場開発の中心が沖合の大水深域へ移行するに伴い、鋼製高層魚礁の造成が各地で行われており、鋼製高層魚礁に 機能を付加するため、コンクリート魚礁を組み合わせた 魚礁も開発されている。

語 群

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| ア. ハイブリッド | イ. 耐震 | ウ. ペットボトル |
| エ. 増殖 | オ. 浮魚礁 | カ. 石炭灰 |
| キ. 囲い礁 | ク. アルミニウム | ケ. 安全 |
| コ. 効率化 | サ. ハイテク | シ. 産卵礁 |

【正答】

A	B	C	D	E
コ	オ	カ	エ	ア

水産B

〔例題2〕 漁業経営に関する次の記述の空欄A～Eに該当する語句を次の語群から選び、その記号を記入しなさい。

1. 養殖業界において、魚価の低下や飼料費の高騰など経営環境は良くないが、安定的に養殖経営を行い利益を得るためには、と同様に経営や流通に関する知識も重要であり、さらに消費者の生産物に対する安全志向やに対応した養殖経営を行う必要がある。
2. 漁業災害補償制度は中小漁業者の営む漁業養殖業についてその生産金額の減少または養殖水産動植物、養殖施設もしくはに係る損害に関して行う補償制度である。
3. 水産業に関係する団体は、「水産物のの確保と水産業の健全な発展」というの基本理念の実現を目標に、水産庁の所管する団体でも100余りあり、このなかに漁業者が加入する漁業協同組合がある。

語 群

ア. 海岸環境保全	イ. 生物生産技術	ウ. 漁船
エ. 漁具	オ. 水産基本法	カ. 安定供給
キ. 漁場環境保全	ク. 資源管理技術	ケ. 海洋基本法
コ. 市場流通		

【正答】

A	B	C	D	E
イ	キ	エ	カ	オ